

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニューズ

No. 8

2011年2月16日発行

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2
国労会館1F 大阪労連気付
TEL 06 (6353) 6421 FAX (6353) 6420

すべての労働者の賃上げ・雇用確保を 実現しよう 内需主導の景気回復

中小企業振興やTPP反対の思いは一致する！

中小企業団体中央会や商店街の各振興組合を訪問

全国一般大阪府本部は今春闘で「中小企業と地域経済の振興で景気回復を」「最低賃金 1,000 円の実現と中小企業支援の拡充を」の2つの団体署名に取り組んでいます。2月9日には中小企業団体、行政などへ訪問統一行動を行い署名の協力を訴えました。

グリーン会館会議室で意思統一集会を行い、3人1組、5班を編成。いざスタート！の前に、ちょうど沖縄知事選で奮闘された伊波洋一さんが「報告とお礼」で会館に来られたため、参加者全員で伊波さんを出迎え、報告集会に参加。伊波さんに見送られ(?)各班スタート。大商連や民医連、生健会などの民主団体はもとより、中小企業団体中央会や中小企業家同友会、大阪府や大阪市の商工会関係、天神橋筋商店街の各振興組合、共産党・社民党・新社会党、さらにヤフーの電話帳で調べた業者団体など48箇所を訪問しました。



賃金が上がらないと景気が良くなる

大阪府中小企業家同友会には、昨年6月に大阪府議会が全会一致で可決した「大阪府中小企業振興条例」制定のお祝い横断幕が張り出されており、中小企業振興やTPP



P反対で私たちと一致する立場で話が盛り上がりました。他所でも、「最賃千円は難しいが賃金が上がらないと景気が良くなるので労働組合としては大いに声をあげて頑張ってもらいたい」、「企業が内部留保をはき出さないのは政権が不安定で将来不安があるからだ」、「若者の就職難はマスコミや学校、親の大企業思考に問題がある。中小企業には人が来ない。若者に技術の継承ができない」などの意見が出されました。大商連や民医連では加盟組織に下ろしてくれということ、追加注文もありました。

一致する要求で共同の輪が広がる可能性が！

参加者からは、「昨年と同じ所に行ったが、垣根が低くなったように感じる。顔見知りになったというより政治に対する不満、ガス抜きのように話が止まらなかった」、「立場は違うけど一致する要求もあり共同の輪が広がりそう」との感想が出され、元気が出る統一行動でした。

また、朝8時半から南森町駅で組織化リーフとしばた争議団が破産管財人から買い取った「マスク」300セットを使って宣伝行動を行いました。



「景気回復は庶民のフトコロからのポツテカーに、その通り！」

“春闘スローガン” すべての労働者の賃上げ・雇用確保を 実現しよう 内需主導の景気回復

※各単産・地域での春闘でのとくみをお知らせください！！